

甲賀市の外国人市民の現状

甲賀市の外国人市民は市の人口の約5.7%を占める重要な存在に

外国人市民数（2025年12月31日現在）

4,959人

前年比

+218人増 ↑

市の人口に占める割合

約5.7%

多様な国籍の市民が暮らすまち



甲賀市外国人市民の特徴

- 多様な国籍： 48か国、30言語

ベトナム、インドネシア、ミャンマーが急増。

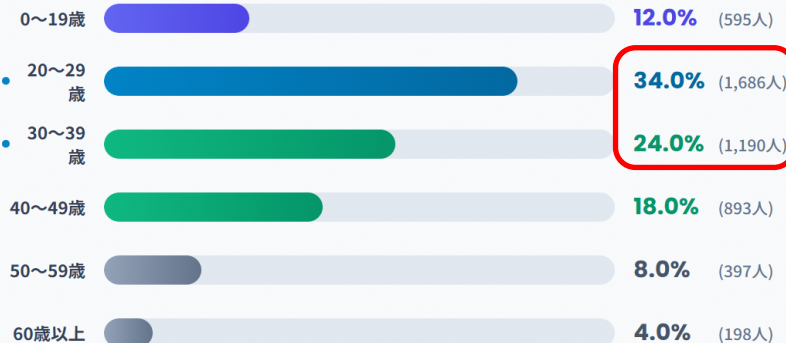
- 働く世代： 生産年齢人口が8割以上を占める。

- 高い定住志向： 3割以上が永住資格を取得。

地域別居住数

水口	66.2%	3,281
甲南	15.6%	774
土山	7.1%	351
信楽	6.5%	323
甲賀	4.6%	230

年齢別人口構成



生産年齢人口 4,112人・82.9%

年少人口 589人・11.9%

老年人口 258人・5.2%

在留資格別内訳

永住者	30.5%	1,511人
定住者	14.8%	734人
技能実習	13.6%	675人
技・人・国	13.1%	650人

甲賀市外国人市民の現状 人口の推移 (2015-2025年)



2025年末 外国人市民数

4,959人

10年間で **+2,317人 (1.89倍)**

2025年末 日本人市民数

81,911人

10年間で **-7,642人 (-8.5%)**

総人口に占める外国人割合

5.71%

2015年 2.87% から **約2倍に拡大**

主要2か国 (ブラジル / ベトナム)

2,954人

外国人全体の **約6割 (59.6%)**

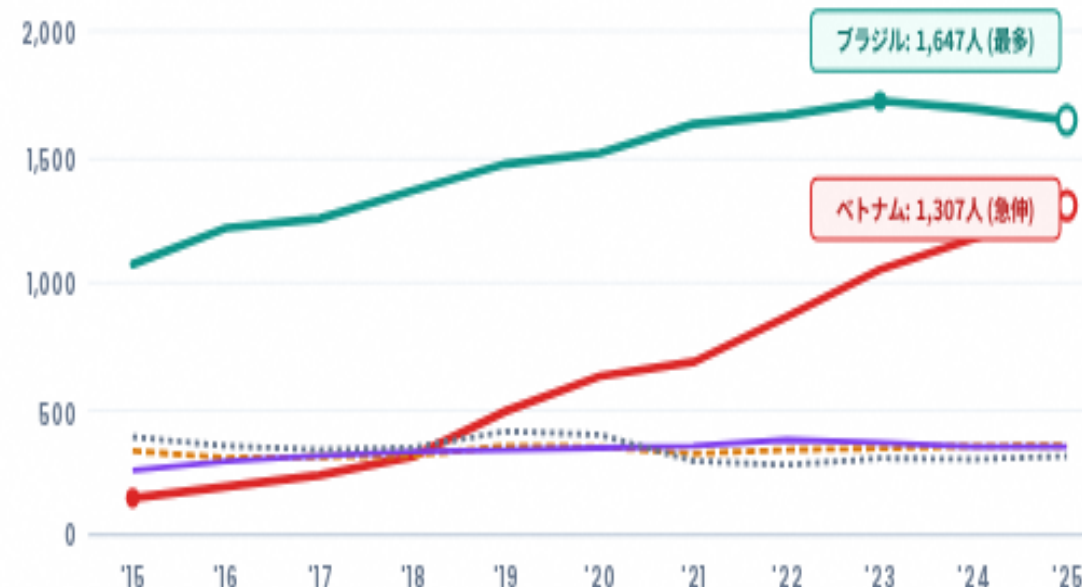
外国人・日本人人口の推移

■ 外国人市民数 (左軸) — 日本人市民数 (右軸)



主要国籍別人口の推移 (上位5か国)

— ブラジル — ベトナム — フィリピン — ペルー — 中国



外国人市民アンケート結果：生活上の困りごと

調査の概要

目的	第2次多文化共生推進計画見直しへの反映
対象	18歳以上の外国人市民 (4,169人)
回答数	960件 (回収率 23%)
期間	令和7年8月8日 ~ 9月10日

65.5%

20代～30代の割合

30か国

回答者の国籍

Q8. 生活上の困りごと (n=960)



外国人市民アンケート結果：地域コミュニティとの関わり

Q10. 地域との関係の現状

あいさつ程度 60.3%

関わっていない 14.7%

約4分の3が日常的な交流が希薄な状態にある

自治会に加入 9.4%

清掃・防災・サークル 10.6%



Q11. 今後の地域活動への参加意欲

48.5%
参加したい

31.8%
わからない

19.3%
したくない

現在交流が少ない層(720人)のうち、**約半数が活動への参加に前向き**

Q12. 参加しやすくなる方法

📢 わかりやすい日本語での声かけ (23.0%)

直接的なアプローチと配慮

😊 受け入れてくれる雰囲気づくり (9.4%)

🗨️ 外国語や「やさしい日本語」の案内 (8.6%)

🗺️ 日本人と外国人の交流の場の創出 (4.3%)

甲賀市市政に関する意識調査： 市内に外国人が増えることへの意識と要因分析



市内に外国人が増えることについて（全体の単数回答）

※「わからない」が半数以上を占め、判断保留が顕著



望ましい (17.4%)

望ましくない (26.2%)

わからない (53.8%)

不明・無回答 (2.6%)

① 望ましいと思う理由（期待・受容）

回答率 17.4% の内訳

- 労働力・消費者の創出：働き手や消費者が増える（全体で最多）
- 地域の活力・活性化：人口増加に伴うまちの賑わい向上
- 多文化交流の機会：外国の文化・生活習慣に触れる契機
- 言語・学びの機会：外国語の学習やグローバルな友人関係の構築

世代別の主な回答特徴

- ・40代：約8割が「働き手・消費増」を選択（経済・担い手期待が突出）
- ・50代：「文化・習慣の交流」を選択する割合が高い
- ・20代以下：「外国語を学べる」を選択する傾向が顕著

② 望ましくないと思う理由（懸念・摩擦）

回答率 26.2% の内訳

- 生活環境の摩擦懸念：近隣とのトラブルが増えそう（最多）
- 価値観・ルールの相違：文化・生活習慣の違い、意思疎通の難しさ
- コミュニティの分断：外国人独自コミュニティ形成による社会的孤立
- 雇用・社会負担：外国人材による雇用の競合、行政負担の増加

世代・地域別の主な回答特徴

- ・60代・土山地域：「近隣とのトラブル」が約8割と突出して高い
- ・20代以下：「仕事を奪われる（雇用競合）」との懸念が他世代比で高め
- ・水口地域：他地域と比して「望ましくない」比率自体が高い（29.5%）

課題対応と多文化共生社会の実現に向けた取り組み 「甲賀市多文化共生センター」の始動

2024年5月に共生の拠点オープン ～共に創る、安心して暮らせるまちをめざして～



生活支援の強化： 多言語相談窓口、専門家相談、**生活オリエンテーションの実施。**



雇用・定住促進： 不動産業者との連携、外国人材受入セミナーやJOBフェアの開催。



コミュニティ支援： 日本語教室の充実、放課後学習支援、やさしい日本語の普及。



多文化防災の強化： ピクトグラムの導入、避難所訓練、外国人防災リーダーの育成。

